

川内原発再稼働市が同意

薩摩川内 立地自治体で初

九州電力川内^{鹿児島}原子力発電所がある鹿児島県薩摩川内市の岩切秀雄市長は28日、再稼働への同意を表明した。これに先立ち同市議会(26人)も再稼働賛成の陳

情を賛成多数で採択した。東京電力福島第一原発事故後、新規制基準のもとでの原発再稼働に、立地市町村が同意するのは初めて。

▼12面 社説

市議会全員協議会で、岩切市長は「エネルギー基本計画に基づき、国の責任のもと再稼働を進める政府の方針について、立地自治体として理解することと判断

した」と述べた。

市議会は臨時会で、再稼働に賛成する陳情を議長を除いて賛成19、反対4、棄権1の賛成多数で採択。1人は退席した。再稼働反対の陳情10件と、福島第一原発を議員が視察しようとする1件はすべて不採択となった。岩切市長は賛成陳情の採択について「慎重かつ丁寧な審議を高く評価、尊重したい」と語った。

記者会見で岩切市長は、この時期の同意について、原子力規制委員会が9月10

日に審査書を決定したこと
に触れ、「安全性を国がきちっと整理したと思っていた。この許可があれば、早く結論を出すべきだと思っていた」と述べた。

地元同意の手続きは、鹿児島県議会と伊藤祐一郎知事の判断に移る。伊藤知事は「薩摩川内市議会、市長と県議会の意向などを総合的に勘案して、今後、再稼働について判断したい」とコメントした。県議会は臨時会を11月上旬に開く方向で調整している。(田中啓介)